

凡例

記号	部材	仕様
	スラブ	特記なきスラブ : FS1
	基礎梁	特記なき基礎梁 : 外周部 FG1, 内部 FG2
	柱	
	アンカーボルトM12	埋込み長さ250mm以上, または金物仕様による 座金: 丸座金 径45mm / 角座金 径40mm 角 同等
	アンカーボルトM16	埋込み長さ360mm以上, または金物仕様による ※ホールダウン用
	人通口	特記なき人通口 : FD1
	束	
	床下点検口	

※ 外構、コンクリート土間の範囲・高さ等は図中省略し、意匠図・施工図優先とする

【基礎型式】

鉄筋コンクリート造 べた基礎

【地盤】

長期許容応力度 $q_a=20\text{kN/m}^2$

- ・着工前に地盤調査を実施すること
- ・調査結果の地耐力が設計地耐力以上であることを確認すること
- ・地耐力が設計地耐力に満たない場合、地盤改良を行い設計地耐力を確保すること

【コンクリート】

設計基準強度 $F_c=21\text{N/mm}^2$

【鉄筋】

SD295A・SD295 : D10以上D16以下

【アンカーボルト配置】

土台端部・継手部、耐力壁近傍および $\phi 2,700\text{mm}$ 以下の間隔で配置
(必要箇所以外への配置は施工図優先とする)

【HD用アンカーボルト埋め込み長さ】

ZマークM16アンカー	~25.0kN : 360mm以上
	~35.5kN : 510mm以上
コルトアンカー	~37.0kN : 250mm以上
ショートクランクアンカー	~37.0kN : 280mm以上
オメガアンカーボルトM16	~53.5kN : 200mm以上
フレックスホールダウンアンカー	~60.0kN : 300mm以上

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

基礎伏図

縮尺

1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

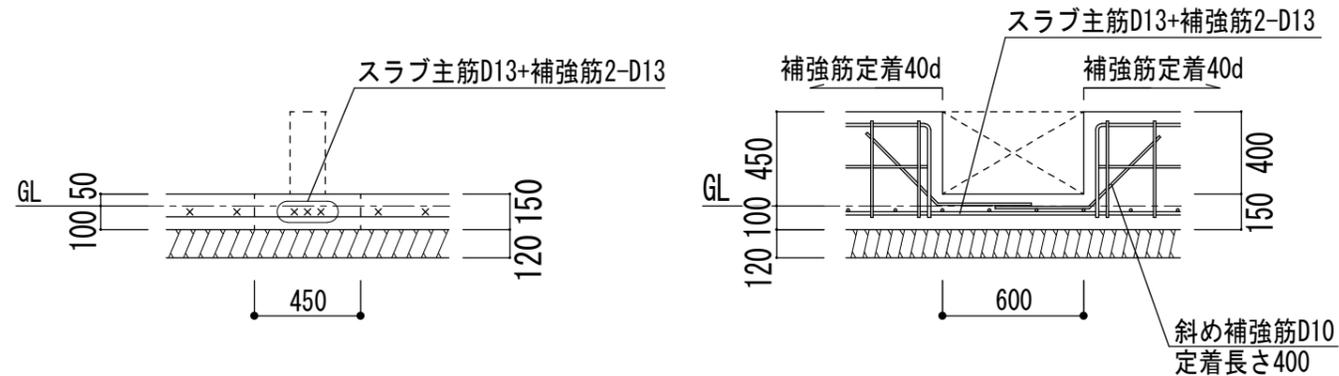
S-1

<p style="text-align: center;">FG1</p>	<p style="text-align: center;">FG1A 【FG1B】</p> <p>※【 】内は FG1B を示す</p>	<p style="text-align: center;">FG1C</p>	
<p style="text-align: center;">FG2</p>	<p style="text-align: center;">FG2A</p>	<p style="text-align: center;">FG4A</p>	
<p style="text-align: center;">FS1</p>	<p style="text-align: center;">FS2</p>	<p style="text-align: center;">FS3</p>	<p style="text-align: center;">スリーブ補強</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孔径80mm以上又は梁せい1/8以上の貫通孔には補強金を入れる。 ・貫通孔径は150mm以下かつ梁せい1/3以下とする。 ・孔が複数の場合は中心間隔を径の3倍以上とする。 ・スターラップを切断してはならない。

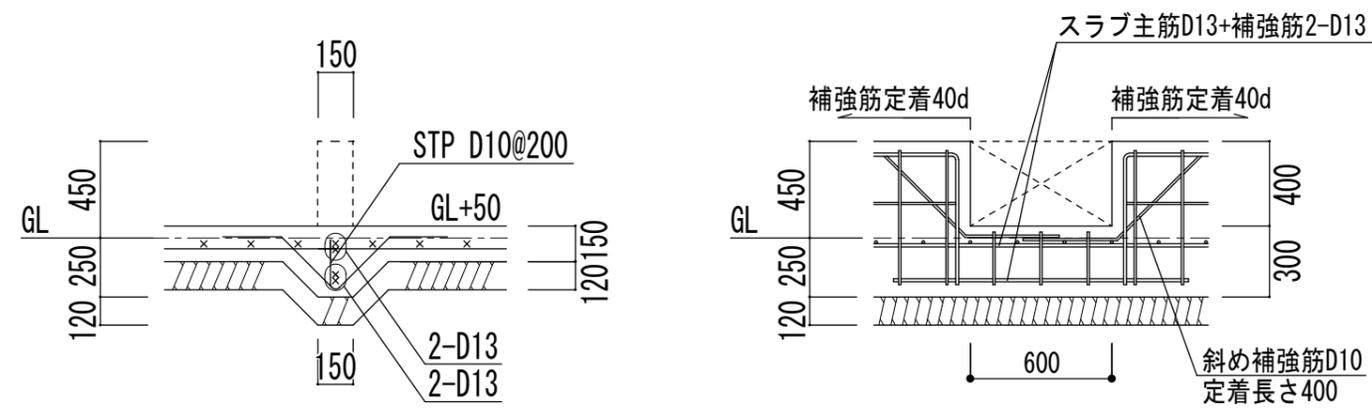
※立上り部のせん断補強筋端部はユニット鉄筋とする。

<p>現場名称</p> <p style="text-align: center;">善養寺様邸 新築工事</p>	<p>図面名称</p> <p style="text-align: center;">基礎断面図(1)</p>		<table border="1"> <tr> <td>縮尺</td> <td>1/30</td> <td rowspan="2">図面番号</td> </tr> <tr> <td>作成日</td> <td>2026/ 2/13</td> <td>S-2-1</td> </tr> </table>	縮尺	1/30	図面番号	作成日	2026/ 2/13	S-2-1
縮尺	1/30	図面番号							
作成日	2026/ 2/13		S-2-1						

人通り FD1

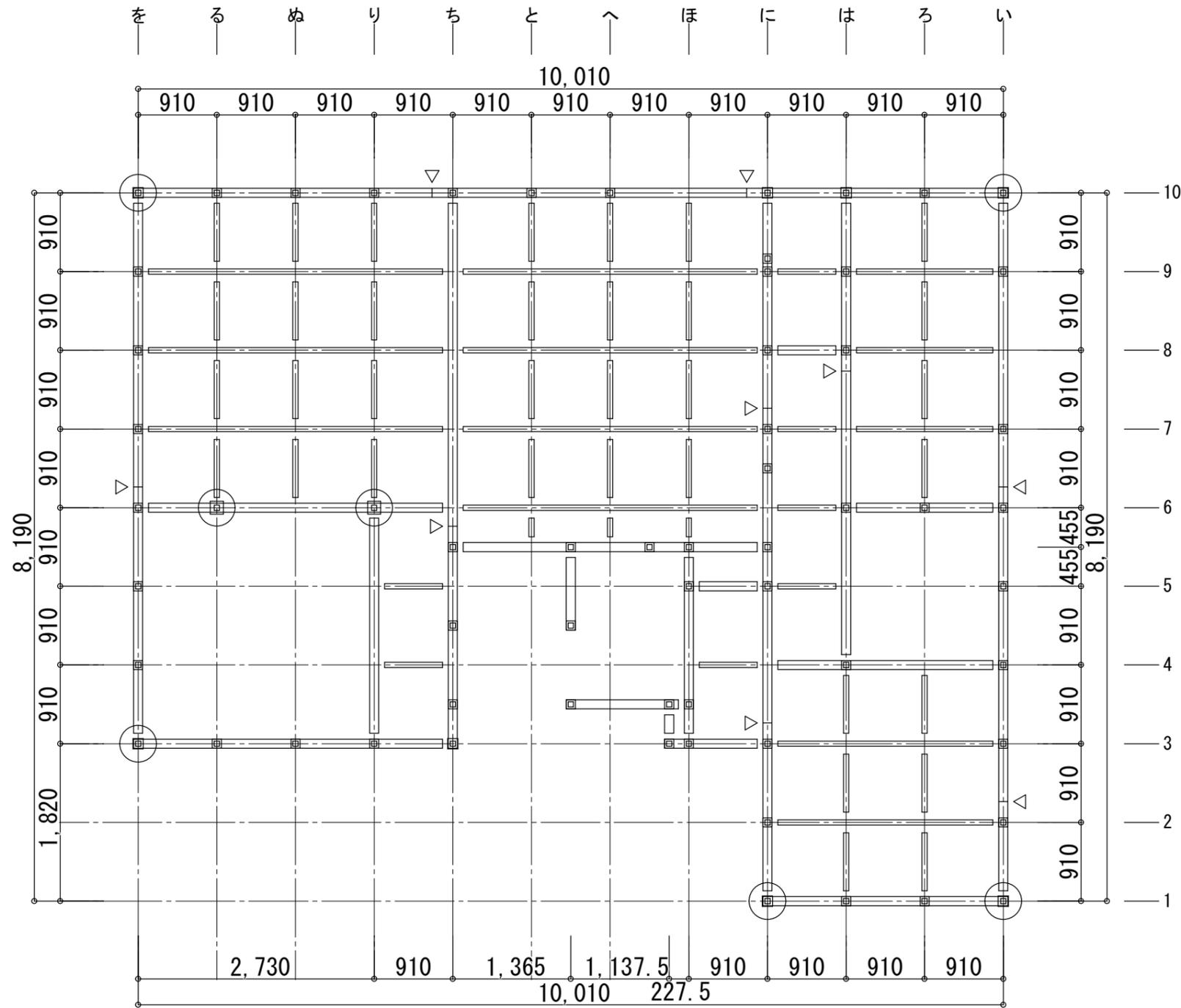


人通り FD4A



※立上り部のせん断補強筋端部はユニット鉄筋とする。

現場名称 善養寺様邸 新築工事	図面名称 基礎断面図(2)			縮尺 作成日	1/30 2026/ 2/12	図面番号 S-2-2
--------------------	------------------	--	--	-----------	--------------------	---------------



標準部材 ※特記なき場合

部材	断面	樹種	等級	備考
土台	105×105	ひのき	無等級	
大引	90×90	ひのき	無等級	
梁	105×105	べいまつ	無等級	
甲乙梁	90×90	すぎ	無等級	
母屋	105×105	べいまつ	無等級	
棟木	105×105	べいまつ	無等級	
垂木	45×105	べいまつ	無等級	1F:@455/2F:@455
管柱	105×105	ひのき	無等級	
通し柱	120×120	ひのき	無等級	

※断面、樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする

横架材接合部 ※特記なき場合

記号	部位	仕様
T1	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物
J1	仕口	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト

※同等耐力以上への変更は可とする

凡例

	土台
	大引 ※括弧付きの数値は各階基準レベルからの配置高さ
	1階柱 ※柱のホゾ寸法は30×90以下とする
	通し柱
	継手
	床下点検口

※構造耐力上主要な部分で腐食・腐朽・摩耗に対する処置済みの材料を使用する。

※柱の所要断面積の1/3以上の欠き込みがある場合は補強する。

※隅柱又はこれに準ずる柱は通し柱または同等の補強をする。

※地盤面より1mの範囲は防腐・防蟻処置を施す。

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

土台伏図

縮尺

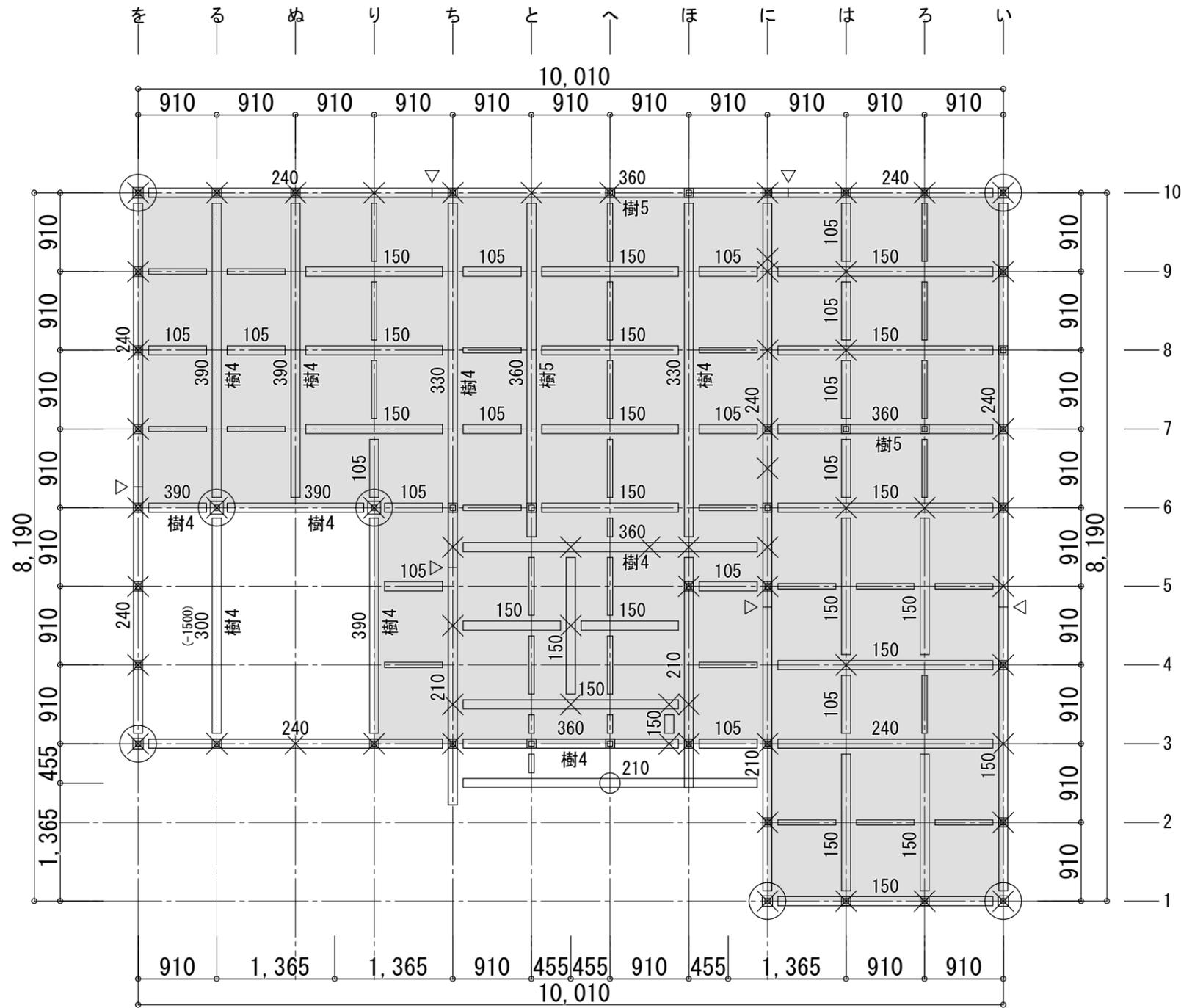
1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

S-3



標準部材 ※特記なき場合

部材	断面	樹種	等級	備考
土台	105×105	ひのき	無等級	
大引	90×90	ひのき	無等級	
梁	105×105	べいまつ	無等級	
甲乙梁	90×90	すぎ	無等級	
母屋	105×105	べいまつ	無等級	
棟木	105×105	べいまつ	無等級	
垂木	45×105	べいまつ	無等級	1F:@455/2F:@455
管柱	105×105	ひのき	無等級	
通し柱	120×120	ひのき	無等級	

※断面、樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする

標準外部材

記号	仕様
樹4	おうしゅうあかまつ 対称異等級構成集成材 E105-F300
樹5	べいまつ 対称異等級構成集成材 E120-F330

※樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする

横架材接合部 ※特記なき場合

記号	部位	仕様
T1	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物
J1	仕口	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
J3	通し柱仕口	大入れほぞ差し+羽子板ボルト

※同等耐力以上への変更は可とする

凡例

	梁	※括弧付きの数値は各階基準レベルからの配置高さ
	甲乙梁	
	継手	
	上階柱	※柱のホゾ寸法は30×90以下とする
	下階柱	※柱のホゾ寸法は30×90以下とする
	通し柱	
	火打梁	※鋼製またはは90×90以上木製火打
	水平構面	構造用合板24-30mm, N75@150以下, 4周釘打ち 根太なし, 受材@1000以下

※構造耐力上主要な部分で腐食・腐朽・摩耗に対する処置済みの材料を使用する。

※柱の所要断面積の1/3以上の欠き込みがある場合は補強する。

※隅柱又はこれに準ずる柱は通し柱または同等の補強をする。

※梁・桁・その他の横架材は中央付近下部に耐力上支障のある欠き込みはしない。

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

2階床伏図

縮尺

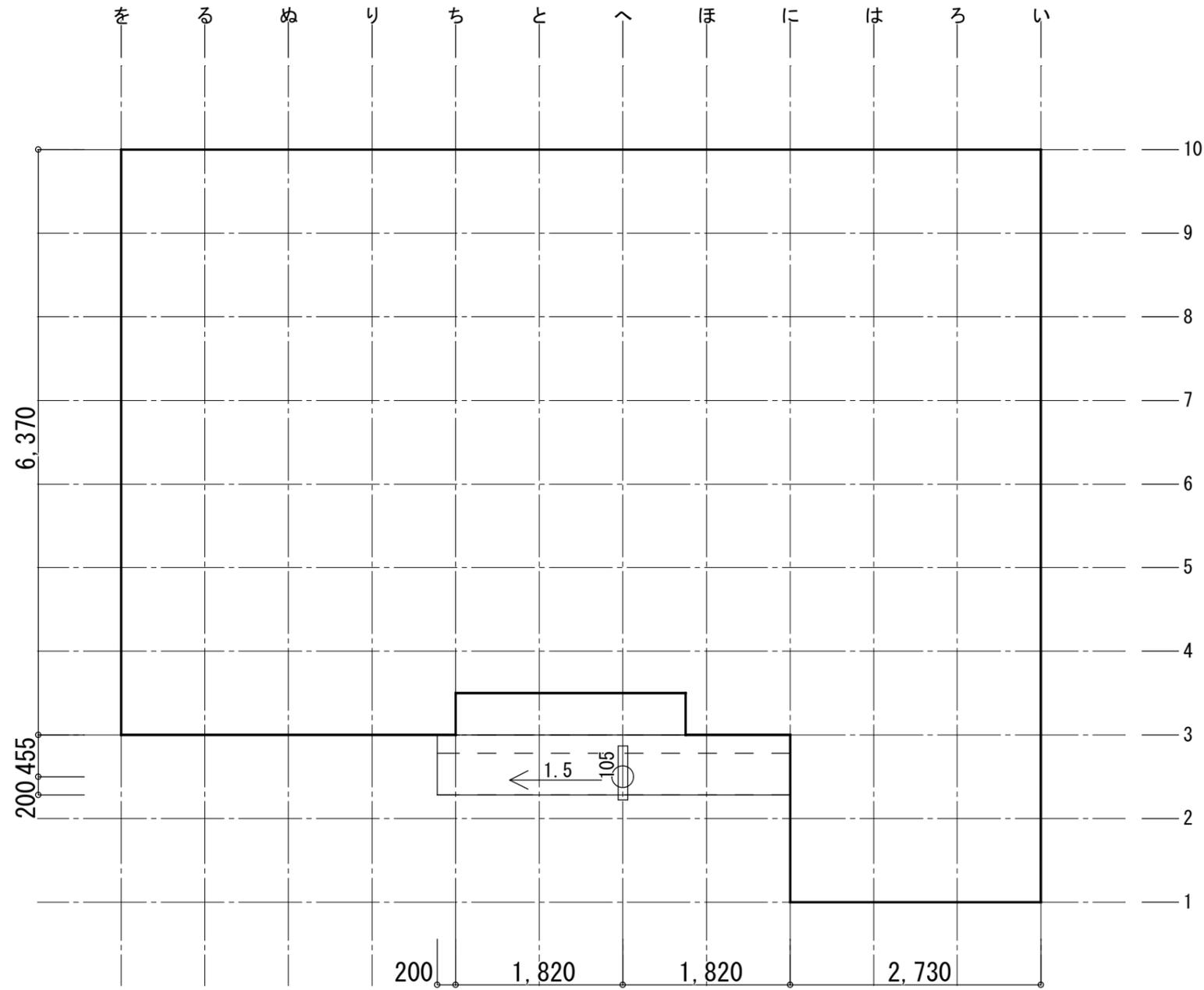
1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

S-4



標準部材 ※特記なき場合

部材	断面	樹種	等級	備考
土台	105×105	ひのき	無等級	
大引	90×90	ひのき	無等級	
梁	105×105	べいまつ	無等級	
甲乙梁	90×90	すぎ	無等級	
母屋	105×105	べいまつ	無等級	
棟木	105×105	べいまつ	無等級	
垂木	45×105	べいまつ	無等級	1F:@455/2F:@455
管柱	105×105	ひのき	無等級	
通し柱	120×120	ひのき	無等級	

※断面、樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする

横架材接合部 ※特記なき場合

記号	部位	仕様
T1	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物
J1	仕口	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト

※同等耐力以上への変更は可とする

凡例

	梁	※括弧付きの数値は各階基準レベルからの配置高さ
	垂木	※垂木と軒桁・母屋・棟木・登り梁の接合部はひねり金物(ST-9)同等耐力以上の仕様とする
	小屋束	
	継手	
	屋根構面	構造用合板12mm, N50@150以下, 勾配2.5寸 垂木45×105@455以下, 転ばし

※構造耐力上主要な部分で腐食・腐朽・摩耗に対する処置済みの材料を使用する。
 ※柱の所要断面積の1/3以上の欠き込みがある場合は補強する。
 ※隅柱又はこれに準ずる柱は通し柱または同等の補強をする。
 ※梁・桁・その他の横架材は中央付近下部に耐力上支障のある欠き込みはしない。
 ※妻壁は登梁まで耐力壁を張り上げ屋根面にせん断力を伝達できる構造とする。

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

1階小屋伏図

縮尺

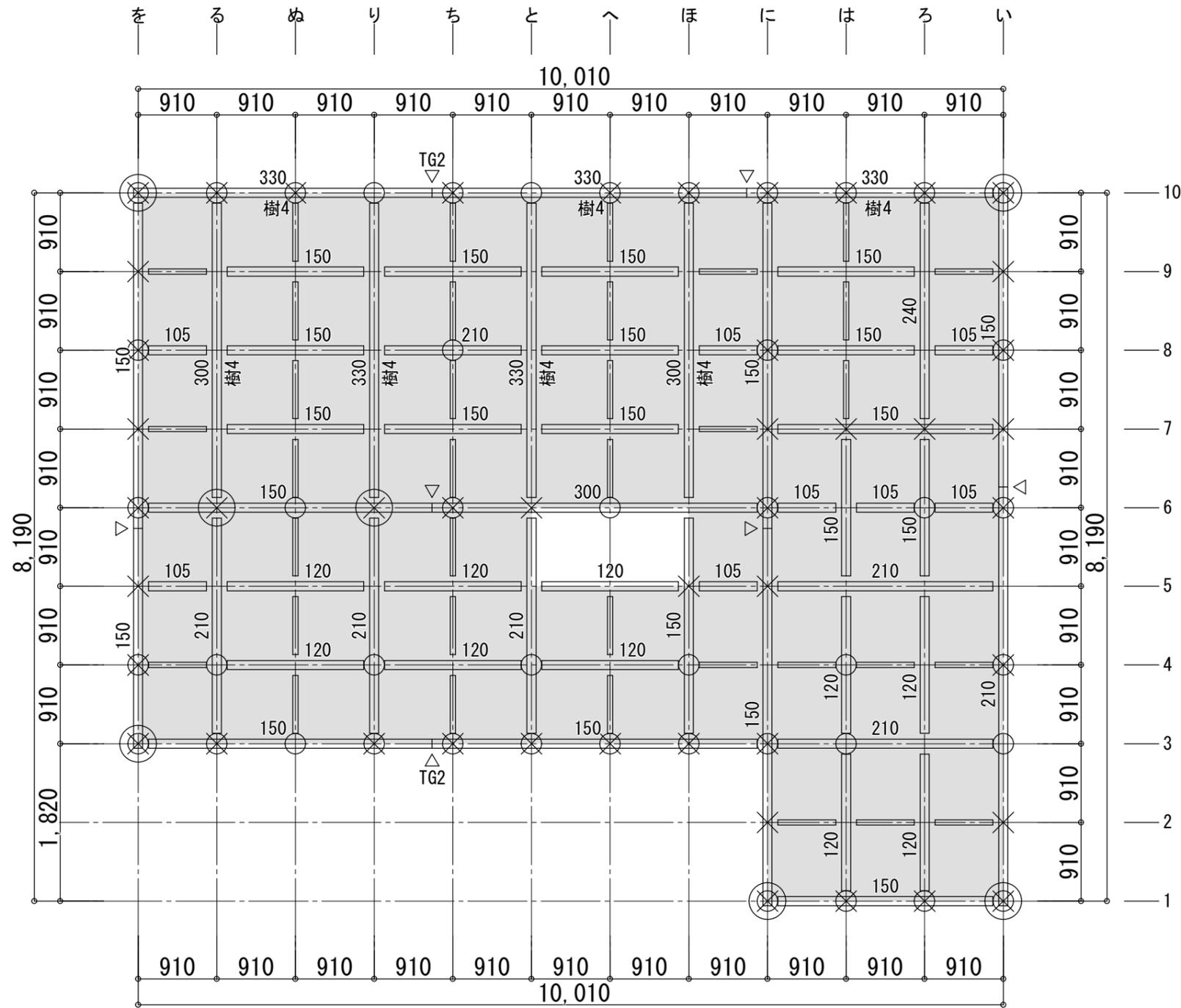
1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

S-5



標準部材 ※特記なき場合

部材	断面	樹種	等級	備考
土台	105×105	ひのき	無等級	
大引	90×90	ひのき	無等級	
梁	105×105	べいまつ	無等級	
甲乙梁	90×90	すぎ	無等級	
母屋	105×105	べいまつ	無等級	
棟木	105×105	べいまつ	無等級	
垂木	45×105	べいまつ	無等級	1F:@455/2F:@455
管柱	105×105	ひのき	無等級	
通し柱	120×120	ひのき	無等級	

※断面，樹種，等級の同等耐力以上への変更は可とする

標準外部材

記号	仕様
樹4	おうしゅうあかまつ 対称異等級構成集成材 E105-F300

※樹種，等級の同等耐力以上への変更は可とする

横架材接合部 ※特記なき場合

記号	部位	仕様
T1	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物
TG2	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物×2
J1	仕口	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト

※同等耐力以上への変更は可とする

凡例

	梁	※括弧付きの数値は各階基準レベルからの配置高さ
	継手	
	小屋束	
	下階柱	※柱のホゾ寸法は30×90以下とする
	火打梁	
	水平構面	構造用合板24-30mm, N75@150以下, 4周釘打ち 根太なし, 受材@1000以下

※構造耐力上主要な部分で腐食・腐朽・摩耗に対する処置済みの材料を使用する。

※柱の所要断面積の1/3以上の欠き込みがある場合は補強する。

※隅柱又はこれに準ずる柱は通し柱または同等の補強をする。

※梁・桁・その他の横架材は中央付近下部に耐力上支障のある欠き込みはしない。

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

2階小屋伏図

縮尺

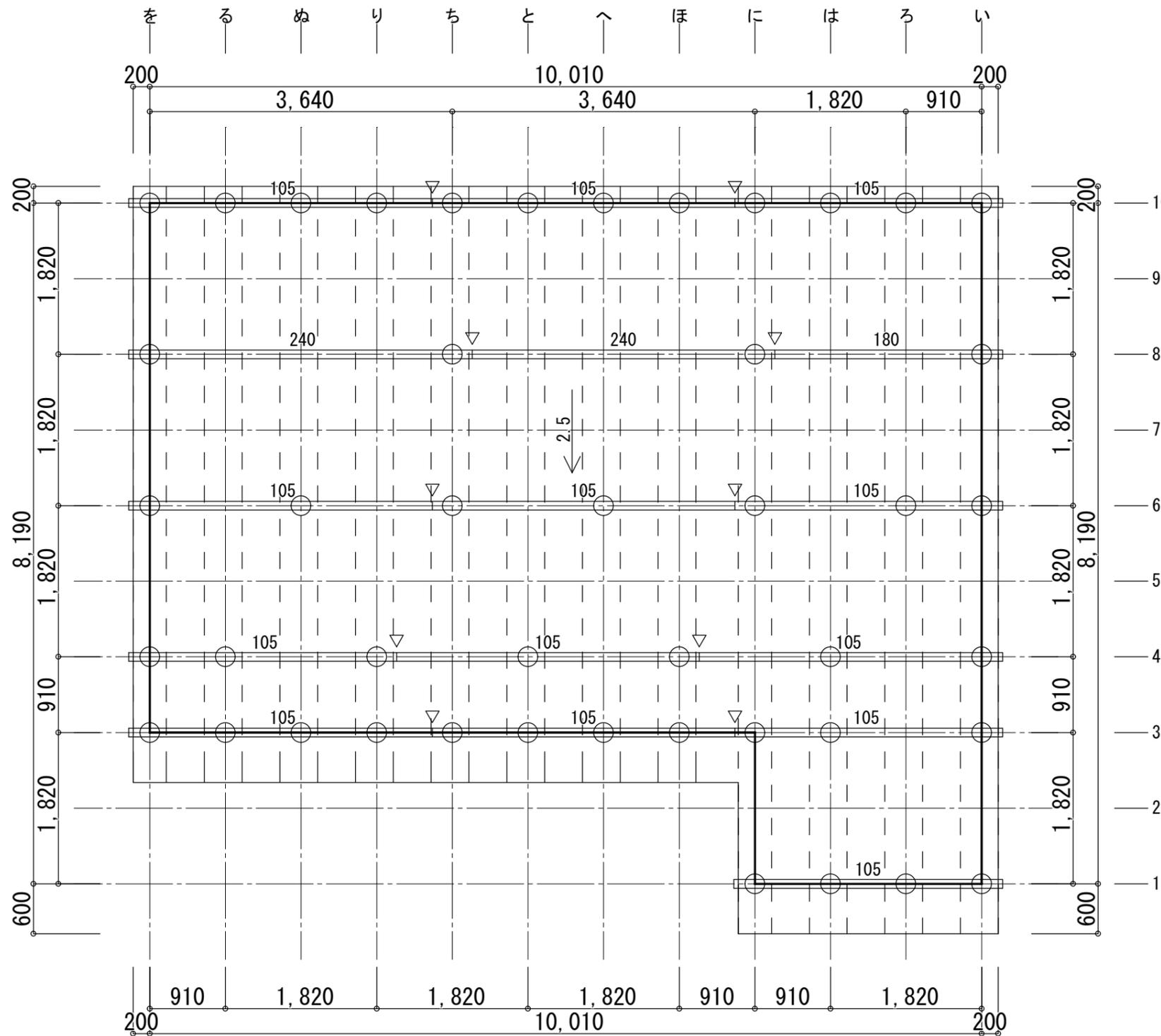
1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

S-6



標準部材 ※特記なき場合

部材	断面	樹種	等級	備考
土台	105×105	ひのき	無等級	
大引	90×90	ひのき	無等級	
梁	105×105	べいまつ	無等級	
甲乙梁	90×90	すぎ	無等級	
母屋	105×105	べいまつ	無等級	
棟木	105×105	べいまつ	無等級	
垂木	45×105	べいまつ	無等級	1F:@455/2F:@455
管柱	105×105	ひのき	無等級	
通し柱	120×120	ひのき	無等級	

※断面，樹種，等級の同等耐力以上への変更は可とする

横架材接合部 ※特記なき場合

記号	部位	仕様
T1	継手	腰掛け蟻継+短ざく金物
J1	仕口	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト

※同等耐力以上への変更は可とする

凡例

	梁	※括弧付きの数値は各階基準レベルからの配置高さ
	垂木	※垂木と軒桁・母屋・棟木・登り梁の接合部はひねり金物(ST-9)同等耐力以上の仕様とする
	小屋束	
	継手	
	屋根構面	構造用合板12mm, N50@150以下, 勾配2.5寸 垂木45×105@455以下, 転ばし

※構造耐力上主要な部分で腐食・腐朽・摩耗に対する処置済みの材料を使用する。
 ※柱の所要断面積の1/3以上の欠き込みがある場合は補強する。
 ※隅柱又はこれに準ずる柱は通し柱または同等の補強をする。
 ※梁・桁・その他の横架材は中央付近下部に耐力上支障のある欠き込みはしない。
 ※妻壁は登梁まで耐力壁を張り上げ屋根面にせん断力を伝達できる構造とする。

現場名称

善養寺様邸 新築工事

図面名称

2階屋根伏図

縮尺

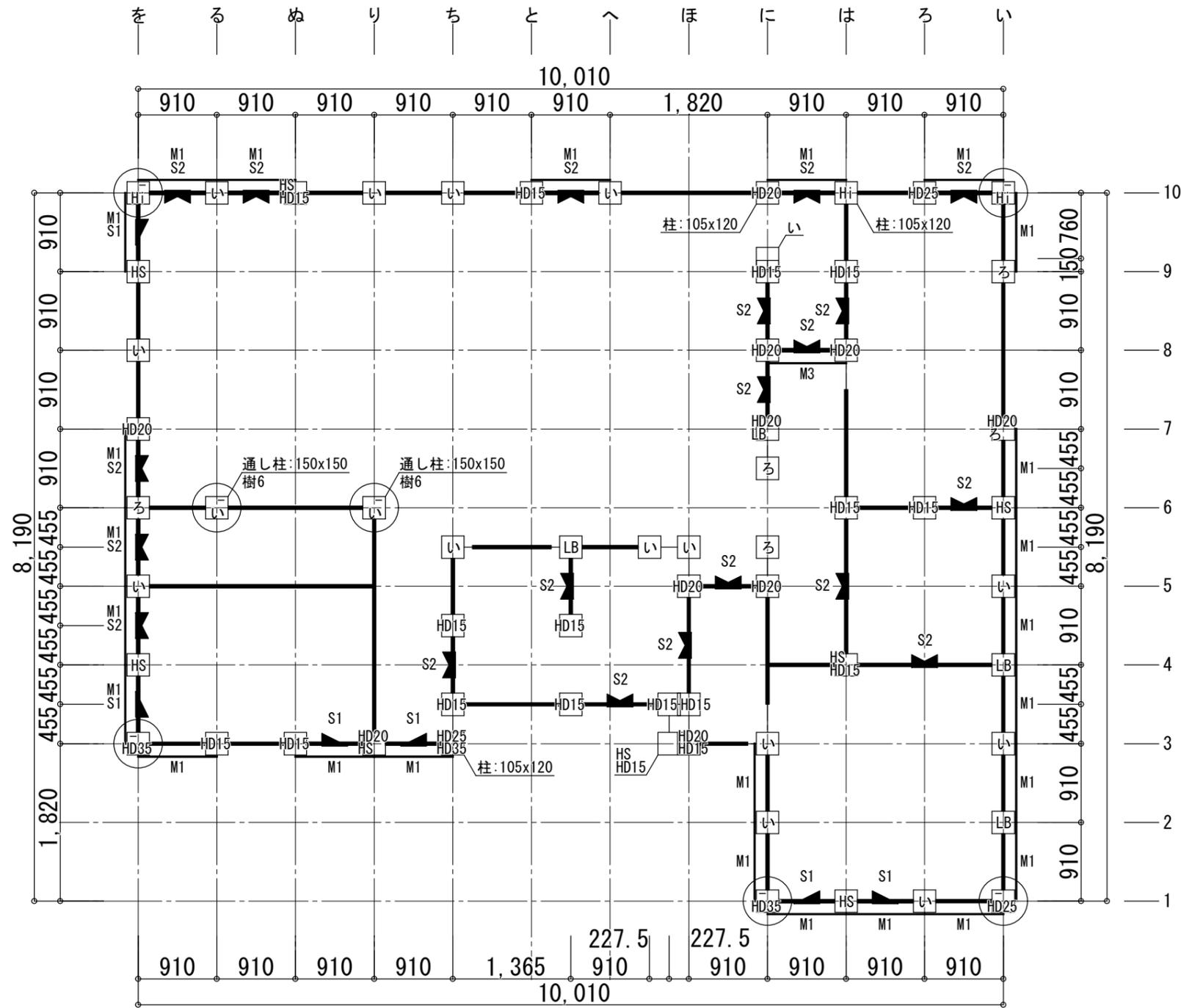
1/60

図面番号

作成日

2026/ 2/12

S-7



耐力壁仕様

記号	倍率	仕様
M1	2.7	タイガーEXハイパー<FRM-0678> 釘:NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M2	2.2	タイガーEXハイパー(床勝ち)<FRM-0679> 釘:NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M3	2.4	タイガーハイパーハードT<FRM-0446> 釘:PS3841MW, 外周部@100以下/内部@150以下
S1	2.0	片筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等
S2	4.0	両筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等

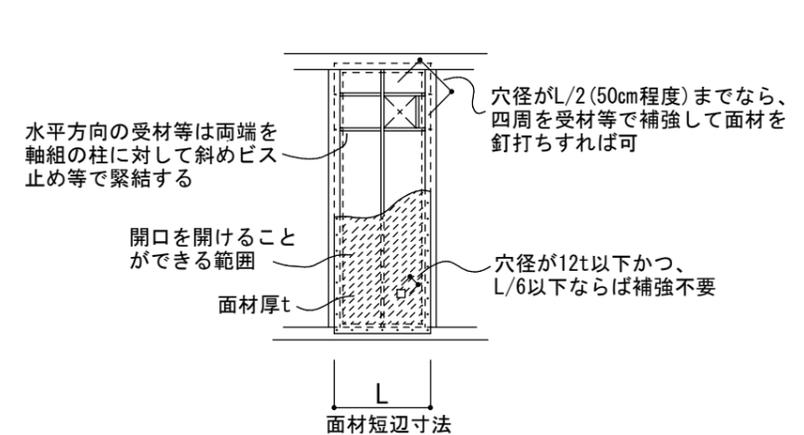
※特記なき柱・小屋束断面は105×105とする

柱頭柱脚金物

記号	耐力	仕様
い	0.0	短ほぞ差し/かすがい打ち
ろ	3.4	長ほぞ差し込み栓/かど金物CP・L
LB	5.6	リブコーナー
HS	10.0	PZハイパースリム・II
HD15	15.7	ビス止めホールダウンU15
HD20	21.0	ビス止めホールダウンU20
HD25	28.7	ビス止めホールダウンU25
HD35	35.4	ビス止めホールダウンU35
Hi	60.3	高耐力ホールダウンHi

※柱頭、柱脚で金物が異なる場合は2段に表記し、上段を柱頭、下段を柱脚とする

※金物は同等耐力以上への変更は可とする



【剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方】

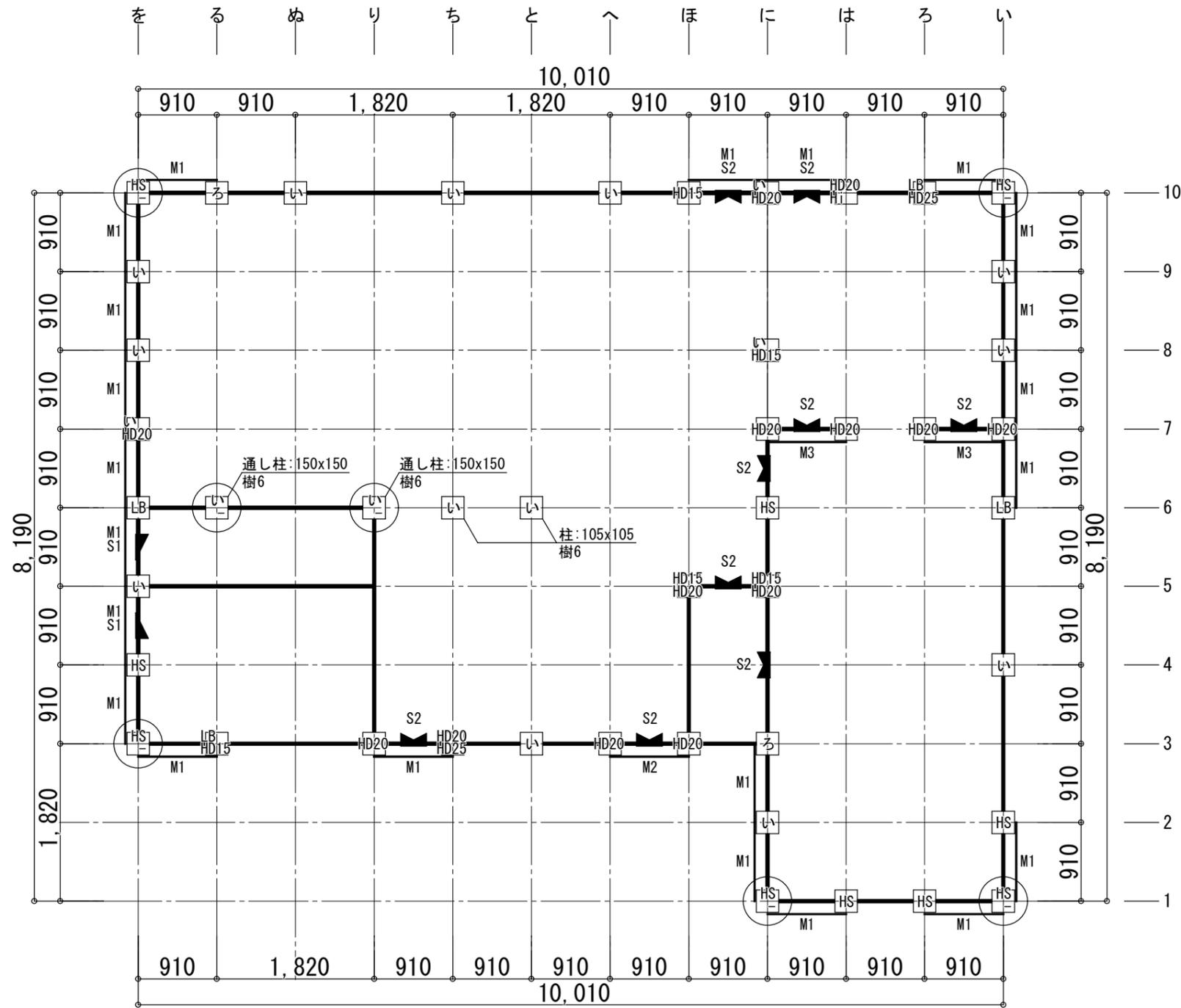
【筋交い向き凡例】

標準外部材

記号	仕様
樹6	おうしゅうあかまつ 同一等級構成集成材 E95-F315

※樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする

現場名称	図面名称	縮尺	作成日	図面番号
善養寺様邸 新築工事	1階耐力壁・金物配置図	1/60	2026/ 2/12	S-8



耐力壁仕様

記号	倍率	仕様
M1	2.7	タイガーEXハイパー<FRM-0678> 釘: NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M2	2.2	タイガーEXハイパー(床勝ち)<FRM-0679> 釘: NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M3	2.4	タイガーハイパーハードT<FRM-0446> 釘: PS3841MW, 外周部@100以下/内部@150以下
S1	2.0	片筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等
S2	4.0	両筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等

※特記なき柱・小屋束断面は105×105とする

柱頭柱脚金物

記号	耐力	仕様
い	0.0	短ほぞ差し/かすがい打ち
ろ	3.4	長ほぞ差し込み栓/かど金物CP・L
LB	5.6	リブコーナー
HS	10.0	PZハイパースリム・II
HD15	15.7	ビス止めホールダウンU15
HD20	21.0	ビス止めホールダウンU20
HD25	28.7	ビス止めホールダウンU25
HD35	35.4	ビス止めホールダウンU35
Hi	60.3	高耐力ホールダウンHi

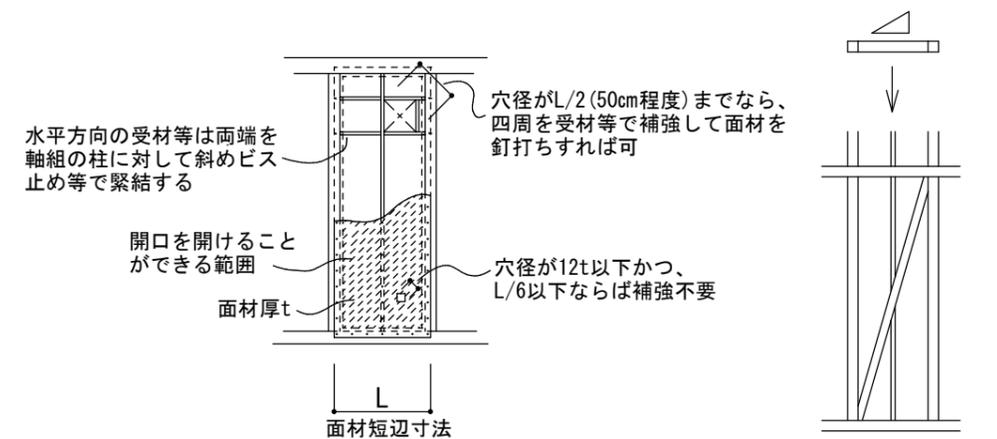
※柱頭、柱脚で金物が異なる場合は2段に表記し、上段を柱頭、下段を柱脚とする

※金物は同等耐力以上への変更は可とする

標準外部材

記号	仕様
樹6	おうしゅうあかまつ 同一等級構成集成材 E95-F315

※樹種、等級の同等耐力以上への変更は可とする



【剛性・耐力に影響しない面材耐力壁の小開口の設け方】

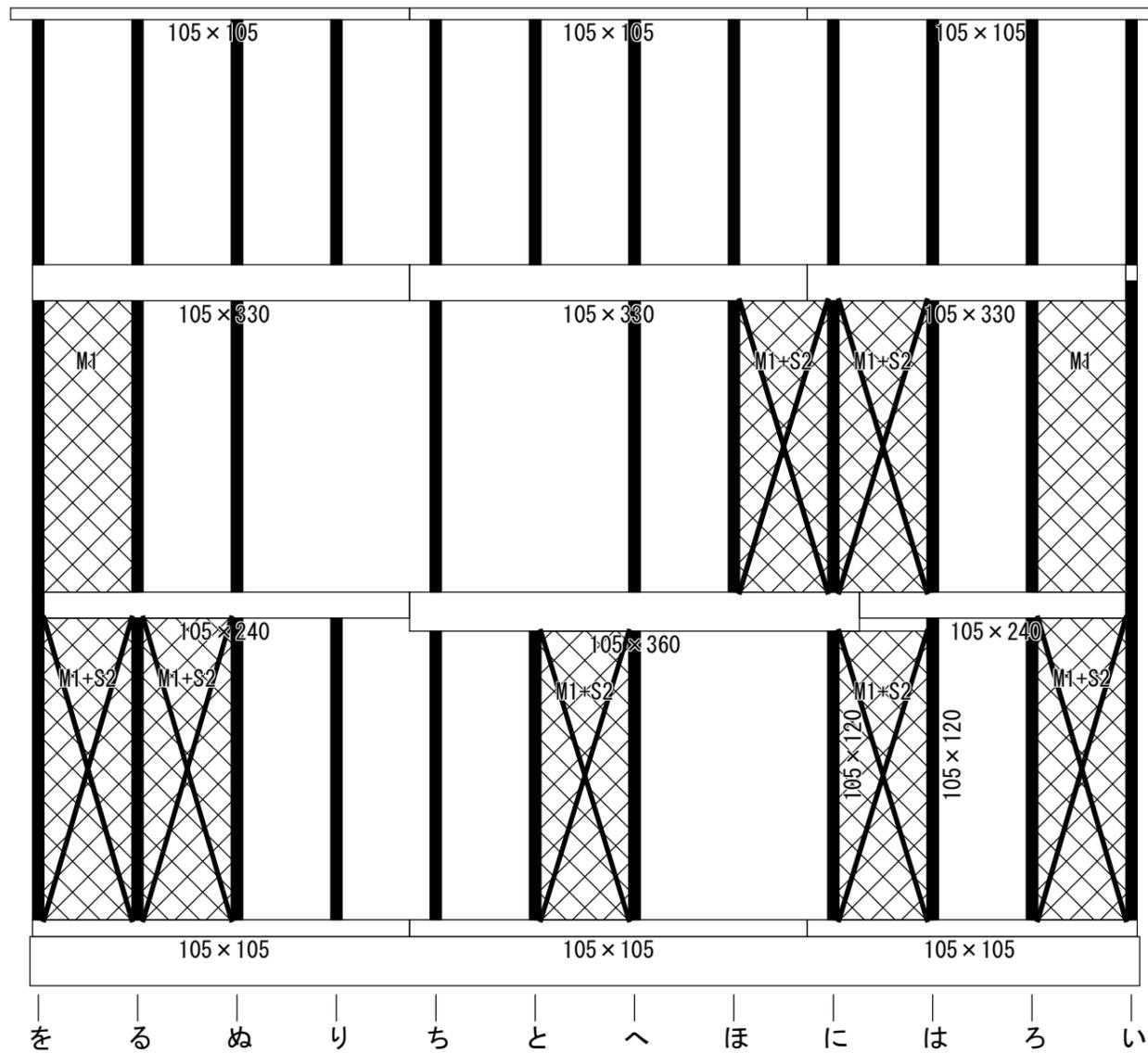
【筋交い向き凡例】

現場名称	善養寺様邸 新築工事	図面名称	2階耐力壁・金物配置図	縮尺	1/60	図面番号	S-9
				作成日	2026/ 2/12		

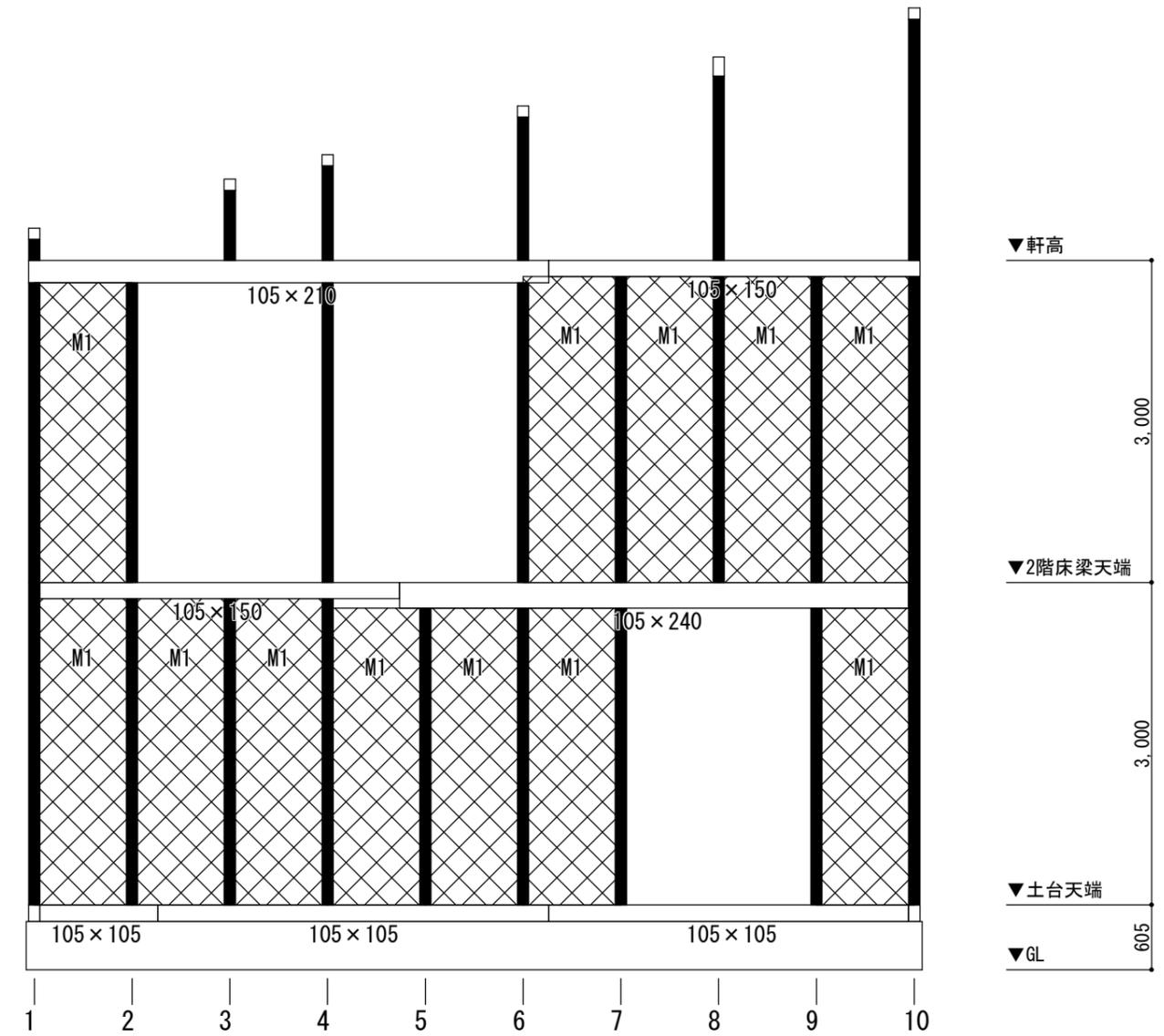
耐力壁仕様

記号	倍率	仕様
M1	2.7	タイガーEXハイパー<FRM-0678> 釘:NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M2	2.2	タイガーEXハイパー(床勝ち)<FRM-0679> 釘:NZ50, 外周部@75以下/内部@150以下
M3	2.4	タイガーハイパーハードT<FRM-0446> 釘:PS3841MW, 外周部@100以下/内部@150以下
S1 	2.0	片筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等
S2 	4.0	両筋交い: 45mm×90mm以上 筋かいプレート(BP-2) 同等認定金物等

※特記なき柱・小屋束断面は105×105とする



10通り



い通り

現場名称	善養寺様邸 新築工事	図面名称	軸組図	縮尺	1/60	図面番号
				作成日	2026/ 2/12	